令和　　年度　個別の教育支援計画　支援内容表

記入日　1回目　令和　　年　　月　　日

2回目　令和　　年　　月　　日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　作成者

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| （園・学校名） | 学年  　　　　　　　年 | 氏　名 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 将来についての本人・保護者の願い | 園・学校生活についての本人・保護者の願い |
|  |  |

|  |
| --- |
| 支援目標（○○までに育てたい力）（〇年後までに育てたい力） |
|  |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 教育における支援（評価：◎とても効果があった　〇効果があった　△効果がなかった） | | | |
|  | 支　援　内　容 | 評価 | 次年度への申し送り事項 |
| 学　校 |  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
| 家庭 |  |  |  |
|  |  |  |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 関係機関における支援 | | | | |
|  | 関係機関名 | 現在受けている支援 | 担当者 | 連絡先 |
| 医　療 |  |  |  |  |
| 福　祉 |  |  |  |  |
| 地　域 |  |  |  |  |
| 労　働 |  |  |  |  |
| その他 |  |  |  |  |

|  |
| --- |
| 次年度への申し送り事項 |
|  |

令和　年度　　個別の教育支援計画　支援内容表

記入日　1回目　令和 　年 　月 日

2回目　令和　　年　　月　　日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　作成者

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| （園・学校名） | 学年 | 氏　名 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 将来についての本人・保護者の願い | 園・学校生活についての本人・保護者の願い |
| 将来の生活について、本人や保護者の希望や願いを記入する。 | 現在の生活について、本人や保護者の希望や願いを記入する。 |

日常生活面：心身の健康、身辺自立、社会生活等

対人関係面：人との関わり、コミュニケーション等

学習面：認知、知識、理解、態度等

労働面：作業、技能、態度、意欲等、

余暇：楽しみ、趣味、生きがい等

|  |
| --- |
| 支援目標（○○までに育てたい力）（〇年後までに育てたい力） |
| 上記の本人・保護者の願いをもとに現在の課題を踏まえ、３年後達成できそうな目標を右の５観点を参考に、１～３項目設定する。 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 教育における支援（評価：◎とても効果があった　〇効果があった　△効果がなかった） | | | |
|  | 支　援　内　容 | 評価 | 次年度への申し送り事項 |
| 学　校 | 支援目標を達成するために、学校で取り組む支援を具体的に簡潔に記入する。 |  | 年度末に保護者とともに、「◎○△」で評価し、成果や課題を簡潔に記入する。 |
|  |  |  |
|  |  |  |
| 家庭 | 支援目標を達成するために、家庭で取り組む内容を簡潔に記入する。 |  |  |
|  |  |  |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 関係機関における支援 | | | | |
|  | 関係機関名 | 現在受けている支援 | 担当者 | 連絡先 |
| 医　療 |  |  |  |  |
| 福　祉 |  | 教育機関、医療機関、福祉機関などの情報（連絡先、担当者など）や支援内容について記入する。 |  |  |
| 地　域 |  |  |  |  |
| 労　働 |  |  |  |  |
| その他 |  |  |  |  |

|  |
| --- |
| 次年度への申し送り事項（保護者と確認した申し送り事項） |
| 保護者との年度末の個別面談で、１年間の個別の教育支援計画全体の取り組みについて評価する。保護者と今年度担任との次年度に向けての申し送りなので、保護者が見てもよい表現とする。 |

＊２部作成し１部は保護者へ、１部は個人ファイルに保管。コピーを３／３１までに町教委に提出する。

（記入例） 令和元年度　個別の教育支援計画　支援内容表

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　記入日　1回目　令和　元年　５月１０日

　2回目　令和　２年　３月２１日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　作成者　　大和　憲幸

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| （園・学校名）  新上五島町立〇〇中学校 | 学年  　　　　２　年 | 氏　名 | 上五島　太郎 |

|  |  |
| --- | --- |
| 将来についての本人・保護者の願い | 園・学校生活についての本人・保護者の願い |
| ・特別支援学校に進学し、卒業後は、就職をして一人で生活ができるようになってほしい。  ・趣味をもち、豊かな生活を送ってほしい。 | ・社会に出るための身だしなみやマナーを身に付けてほしい。  ・円滑な人間関係や作業能力を身に付けて欲しい。 |

|  |
| --- |
| 支援目標（○○までに育てたい力）（〇年後までに育てたい力） |
| ・生活習慣を整え、身体を清潔に保ったり、自分の状態を把握したりできるようにする。  ・お金の価値を理解し、適切にお金を管理することができるようにする。  ・人との円滑なコミュニケーションがとれるようにする。 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 教育における支援（評価：◎とても効果があった　〇効果があった　△効果がなかった） | | | |
|  | 支　援　内　容 | 評価 | 次年度への申し送り事項 |
| 学　校 | 毎朝身だしなみチェックを行う。 | ◎ | チェック表の使用をやめ、口頭での確認に変更する。 |
| 買い物学習や数学の時間にお金を使った学習を行う。 | 〇 | 通帳管理の指導も併せて行うと効果的であると思われる。 |
| 友達との正しい距離のとり方や接し方について指導する。 | △ | 口頭ではなく、絵や本などで説明すると理解しやすい。 |
| 家庭 | 洗顔、歯磨き、洗髪等の言葉掛けを毎朝行い、意識付ける。 | ◎ | できていないときだけ、確認するように変更する。 |
| 自宅の手伝いを給料制にし、お金のありがたみを体感させる。 | 〇 | 通帳を作ってもらうようお願いする。 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 関係機関における支援 | | | | |
|  | 関係機関名 | 現在受けている支援 | 担当者 | 連絡先 |
| 医　療 | 上五島病院（かかりつけ病院） |  |  |  |
| 福　祉 | 新上五島町社会福祉協議会  デイサービス | 日中一時支援（普段は土曜日のみ。長期休業中は週３回程度） | 〇〇さん | 12-3456 |
| 地　域 | 特になし |  |  |  |
| 労　働 | 特になし |  |  |  |
| その他 | 特になし |  |  |  |

|  |
| --- |
| 次年度への申し送り事項 |
| 身だしなみは、ほぼ自分で気付くことができるようになってきた。金銭感覚は身に付いており、将来の金銭管理に向けた指導を行っていくとよいのではないだろうか。数学や生単で継続して指導する。機会ごとに言葉掛けをすると言葉遣いは丁寧になってきたが、友達が嫌がることをわざとすることがある。絵や本、図などで指導すると正しい行動を理解しやすいようであった。来年度は進学に向けて、上五島分教室の学校見学や体験入学、虹の原特別支援学校の体験入学を経験させると、将来へのイメージが膨らみ、本人の意識も高まるのではないだろうか。状況に応じて職場見学等を実施することも効果的であると思われる。 |